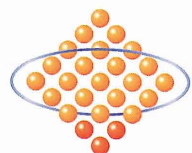
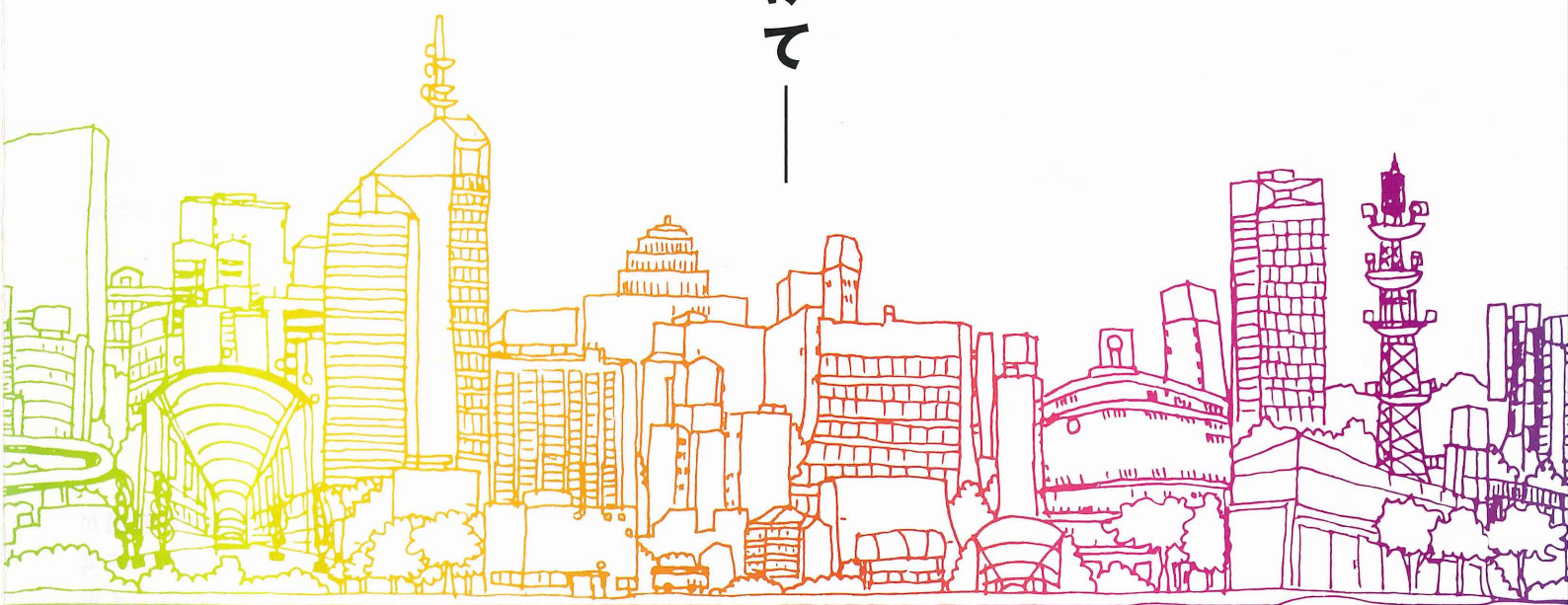


学都仙台コンソーシアム
「復興大学」事業

市民公開講座 **講座 仙台学**
sendai-gaku

学都仙台の復興へ向けて



学都仙台コンソーシアム

平成23年度 文部科学省

「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」採択事業

東北の復興・新生を私たちの手で

復興大学

市民公開講座 講座 仙台学

sendai-gaku

—— 学都仙台の復興へ向けて ——

仙台の都市としての個性、魅力を多彩な学問分野
今年度は学都仙台コンソーシアム「復興大学」事業
受講者のみなさまには、できれば複数の講座を取



17:00~18:30

復興の歴史学 ~過去から未来の為に学ぶ

講師 東北大学高等教育開発推進センター・教授 芳賀 満

ネアンデルタール人が滅亡し、一方で我々の直接の祖先にあたるクロマニヨン人は今日の地球規模の繁栄を成し遂げた、その違いは何であろうか。天国はいつできたのであろうか。農業とはどのような行為であろうか。古代メソポタミア文明が滅んだのはなぜか。なのに我々はいつまで「バベルの塔」を建て続けるのか。そもそも、余剰の富が蓄積しないと礼節や文明は形成されないのだろうか。我々は先に行く人々からこそ学び、未来を目指すべきである。そのひとつの方法である歴史学を、復興の手段としても試みたい。



13:00~14:30

2011年東北地方太平洋沖地震の発生機構 ~これまでにわかったこと、まだわからないこと~

講師 東北大学大学院理学研究科・教授 海野 徳仁

2011年東北地方太平洋沖地震はどのような地震だったのかについて、地震および地殻変動観測データに基づいて、現時点でわかったこと、未だわからないことを説明する。また、地震学で今回の地震の発生を予測できていなかった理由について述べる。さらに、今後の課題についても説明する予定である。



15:00~16:30

復興計画と現場とのギャップ

講師 仙台大学体育学部・教授 高成田 享

大震災を受けた政府や県、市町村などの復興計画と、被災地の「現場」との間にギャップはなかったか。あったとすれば、どんなギャップがあり、なぜそれが生じたのか、また、それが実際の復興にどんな影響を与えたか。これを検証することで、今後の災害復興への教訓を得るとすれば、それは何か。



17:00~18:30

農林水産業の復興の課題

講師 東北大学大学院農学研究科・教授 伊藤 房雄

大震災で壊滅的な被害を被った農林水産業の復興には、何よりも農地など生産基盤の復旧や再整備が必要です。被災した多くの農家や漁家もそれを望んでいます。しかし、具体的に農地整備事業などを実施しようとする、そこには私有財産権の調整をはじめ様々な問題が横たっており、復興計画の実現は容易ではありません。この講座では、農林水産業の復興にどのような課題が生じてくるのか、そしてそれらをどのように解決していったらよいのか、受講生と一緒に考えていきます。

の成果によってご紹介する市民公開講座「講座仙台学」は、今年で9年目を迎えます。
業の一環として、学都仙台コンソーシアムの加盟機関がそれぞれの専門性や特色を活かし独自の視点で講義を行います。
徳講していただき、仙台の復興への意識を高める機会になれば幸いです。



13:00~14:30

放射能、放射線の基礎知識 …人体への影響…

講師 東北生活文化大学家政学部・教授 西野 徳三

1)放射能、放射線の理解 2)外部被曝、内部被曝の相違と問題点 3)放射線の人体への害とその発生機構(なぜ放射線は怖いのか) 4)被曝後の修復、がんになる可能性は 5)どの位の放射線量なら問題がでるのか、閾値はあるのか 6)主として放射性ヨウ素やセシウムが事故の後で問題となっている理由は 7)放射線も使い方により役立つことはある 等をのべ、福島原発に繋げて被曝の問題、健康への影響、食品の安全性、除染などの話をし、安心の基本は何かの話をする。



15:00~16:30

復興支援活動の課題と方策

～コミュニティ支援の観点から 一社会学者の試み～

講師 宮城学院女子大学学芸学部・教授 佐藤 幸也

南三陸町での支援活動を中心に、直面する課題と今後の方策について解説する。地域内での避難所の運営や遠隔地の避難所との連携による住民ケア、仮設住宅問題と生活復興課題。農地などを農学や社会学の融合で復旧する集落全体の生産構造回復の試み。NPO、CSR事業、関東地区大学などとの連携などにより住民ニーズに寄り添う復興のあり方を考察する。この際、人材育成の観点から現地で支援継続中の本間照雄氏と共同のワークショップを行う。そのほか、教育問題として、石巻の沿岸部や伊達市などについても取り上げる。

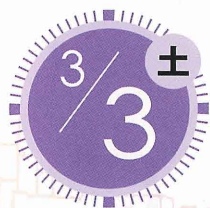


17:00~18:30

国際交流ネクストステージ「となりの外国人」

講師 財団法人東北多文化アカデミー・代表理事 押谷 祐子

「国際交流」はお客さんとして外国の方をもてなすこと。「交流」の相手は帰国またはそれぞれの所属に帰っていきます。若年層の急激な減少により、「すぐには帰らない外国人」一姻戚関係や身近なコミュニティ、仕事の場に、長丁場になるであろう復興を共に支える仲間として、いつも外国人がいる社会をイメージする時期がきているかもしれません。仙台圏、東北地域の実例も交えて一緒に考えてみませんか。



15:00~16:30

迅速性と適切性の相克 —緊急時の政治的リーダーシップ—

講師 東北学院大学法学部・教授 井上 義比古

東日本大震災発生後の政治エリートの言動が国民から批判されています。政治的リーダーシップの不足が原因となって、原子力発電所の事故への対処が適切ではなかったこと、復旧・復興策の策定過程においても不手際が目立つ、などが理由とされています。この講座では、リーダーシップを制約する要因を、具体的事例にそくして、どの国でも共通な要因、日本特有の要因、大震災時点に特有の要因に分けて分析し、私たちはリーダーにどの程度のことを期待できるのかについて、冷静に考えていきます。

